

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和5年9月27日

和泉市長 あて

団体名 和泉の国ジャズストリート実行委員会

代表者名 遠藤 裕康

所在地 和泉市黒鳥町 3-4-8

電話番号 090-4760-2375

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

| | |
|--------------|--|
| 事業名 | 和泉の国ジャズストリート 2024 |
| 申請コース | (1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース |
| 事業費総額 | 2,350,000 円 (うち、対象経費 2,350,000 円) |
| 支援金 交付申請額 | 800,000 円 |

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

団体概要調書

| | | | |
|---|--|----------------|----------------------|
| フリガナ | イズミノクニジャズストリートジッコウインカイ | | |
| 団体名 | 和泉の国ジャズストリート実行委員会 | | |
| 団体の目的 | 音楽イベントを開催し、市民相互の交流と地域の進行を促進する。 | | |
| 市内事務所の所在地 | 〒594-0022 和泉市黒鳥町 3-4-8 | | |
| | 【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】 | | |
| | 電 話 | 0725 (43) 0200 | F A X 0725 (46) 8199 |
| フリガナ | エンドウ ヒロヤス | | |
| 代表者氏名 | 遠藤 裕康 | | |
| 連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方 | (連絡責任者氏名) ※ | | 電 話 |
| | フリガナ | | |
| | | | F A X |
| (住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。 | | | |
| 設 立 年 月 | 2006 年 3 月 | 主な活動地域 | 和泉市 |
| 会報等の発行 | 有 (回発行) ・ 無 | 会員数 | 12 人 |
| メールアドレス | | | |
| ホームページ | http://www.izumi-jazz.jp | | |
| 主な事業内容 | 毎年 9 月下旬から 10 月下旬に、和泉市内に数か所の演奏会場を用意し、ジャズをメインにバンドを公募して音楽イベントを開催する。 | | |
| 主な活動の実績 | 発足は 2006 年市制 50 周年記念市民事業、本年で 17 回目。 他府県よりの参加者も増え、市の振興と知名度向上にも寄与しています。 | | |
| 国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載) | 年度 | 名称 | 金額 (円) |
| | | | |

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

| | | |
|---|--|--|
| 1 事業名 | 和泉の国ジャズストリート 2024 | |
| 2 申請コース | <input type="checkbox"/> 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース ■ ステップアップコース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース | |
| 3 事業の必要性（※別紙添付可） | | |
| ① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 | | |
| <p>市の山手方面では、住宅建設が相次ぎ、大型の商工業や小中一貫校もあり、若い人達の人口が増加している。 彼らは軽音楽の世代であり、市には音楽関連イベントが少ない。</p> | | |
| ② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 | | |
| <p>最近、学校での吹奏楽の部活が盛んである。卒業後にも継続の場を提供することは、市に若い人をひきつける要因ともなり、音楽の流れる明るい街づくりを目指す。</p> | | |
| 4 事業内容（※別紙添付可） | | |
| ①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 | | |
| <p>演奏バンドを公募、和泉市内に数か所の演奏会場・音響設備を用意し、音楽イベントを開催する。 事業の広告宣伝や次年度開催の自主財源確保のためグッズ販売も行う。</p> | | |
| ②実施期間（日時） | 2024年9月28日（土）、29日（日）10時～18時 | |
| ③ 実施場所 | エコール・いずみ アムゼ広場 和泉シティプラザ 和泉中央通りの店舗 | |
| ④ 主な対象者 | 一般市民 | |
| ⑤ 参加予定者数 | 4000～5000名 | |
| ⑥ 告知方法 | ホームページ、チラシ、ポスター、ミニコミ誌、広報いずみ | |
| 5 事業スケジュール | | |
| 次期（月） | 内容 | |
| 2月 | 実行委員会 収支報告 | |
| 4～8月 | 実行委員会 月2回 | |
| 9月 | 実行委員会 会場確認別ボランティア確定 | |

| 6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。) | |
|--|--|
| ① 公益性 | 軽音楽の土壌が無かった市で 17 回実施したことは、市の内外に多くのファンを生み、市のイメージを明るくした。 |
| ② 継続性 | 地元法人の広告料は社会情勢により波があり、グッズの販売も支入価格の上昇で苦しいが、事業規模を調整して継続する。 |
| ③ 実行性 | 役員の高齢化はあるが、委員には中年から若年の人の参加も増えており、17 回の実績から運営面は安定している。 |
| ④ 協働性 | 出演バンドには他市の団体も多く、文化交流の一翼を担っている。又、市内の自治会の行事とも連携しており、桃大の学生ボランティアに司会進行をしてもらっている。 |
| ⑤ 公開性 | ホームページへの掲載のほか、チラシポスターは市内及び周辺 7 市の文化施設に掲示しており、市の広報や地域コミュニティ紙に掲載している。 |
| ⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性) | 音楽文化が和泉市に根付き、それを市内外から幅広く参加・応援してもらえる事業とするため努力する。 |

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称：和泉の国ジャズストリート 2024

1. 【収 入】

(単位：円)

| 項 目 | 金 額 | 積算根拠 |
|------|-----------|--------------|
| 支援金 | 800,000 | 和泉市市民活動推進支援金 |
| 事業収入 | 900,000 | 企業からの協賛金 |
| | 500,000 | グッズ売上 |
| 自主財源 | 150,000 | 団体会計 |
| 合 計 | 2,350,000 | |

2. 【支 出】

(単位：円)

| 費 目 | 金 額 | 積算根拠（数量、単価等） |
|----------|-----------|--|
| 消耗品費 | 550,000 | グッズ仕入（Tシャツ300枚、タオル500枚） |
| 印刷製本費 | 230,000 | チラシ（A4カラー 2,000部） ポスター（A2カラー 100部） プログラム（A4カラー12ページ 2,000部） |
| 役務費 | 50,000 | 郵送料、振込手数料、保険料、有料指定 ごみ袋 |
| 委託料 | 80,000 | 会場設営、警備 |
| 使用料及び賃借料 | 1,440,000 | 音響・楽器レンタル |
| 合 計 | 2,350,000 | |
| 対象経費 | 2,350,000 | |

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

事業計画書 追加資料

| | |
|---------|--|
| 1 団体名 | 和泉の国ジャズストリート実行委員会 |
| 2 事業名 | 和泉の国ジャズストリート実行委員会 2024 |
| 3 申請コース | (1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース |
| 4 | 令和5年度事業における反省点・課題・問題点とそれをどのように改善するかについて記入してください。 (1) 物販の仕入値の上昇は想定外で、会計上のメリット少、要検討。 音響のレンタル料のアップは会場数の減でカバーした。 (2) ボランティアの減少は作業を外部委託とした。 (3) 協賛企業や1社当たりの金額の減は会場やバンド数を減らしたため。 |
| 5 | 令和6年度事業において以下のことについて記入してください。 ・新たに取る事項 ・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項 ・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に 変化がある事項 等 |
| | 学校の部活で吹奏楽が人気で、卒業後も活動を継続している人のため、ビッグバンドの出場枠を増やしていく。 |

※本資料に記載いただいた内容を含め審査を行います。